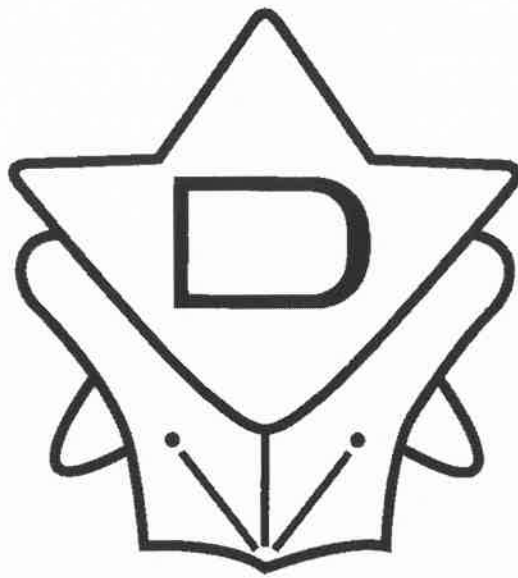


令和 5 年度

学 校 要 覧



沖縄県立 沖縄ろう学校

〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村字屋宜原 415 番地

TEL (098) 932-5475

FAX (098) 932-8248

寄宿舍 (098) 933-3770

目 次

校訓 校歌 校章の紹介

1	沖縄県立沖縄ろう学校学校沿革概要	1
2	歴代管理職（校長、副校長、教頭、事務長）及びPTA 会長一覧	4
3	学校経営	5
4	各学部教育課程	
	（1）幼稚部	7
	（2）小学部	10
	（3）中学部	15
	（4）高等部	19
5	使用教科書一覧、準教科書・副読本等一覧	25
6	週時程表	28
7	寄宿舎運営	33
8	幼児児童生徒数	34
9	市町村別幼児児童生徒数	34
10	聴力の程度	35
11	令和5年度 疾病障害統計	36
12	学級編成	37
13	寄宿舎部屋割	37
14	進路状況	38
15	スクールバスの運行規定・経路図・時刻表	39
16	校舎配置図	45
17	学校案内図	46

沖縄県立沖縄ろう学校沿革概要

平成30年度

- 4月 1日 ・定期人事異動により 教頭 上運天滋 他25名赴任
- 4月 9日 ・一学期始業式、就任式
- 4月10日 ・入学式 幼稚部7(1)名 小学部2名 中学部6名 高等部5名
- 6月 1日 ・地震火災津波避難訓
- 6月25日～7月 5日 ・高等部前期就業体験
- 7月20日 ・一学期終業式
- 9月 3日 ・二学期始業式
- 9月27日～28日 ・九州地区聾学校陸上競技大会（鹿児島大会）
- 10月 4日～ 5日 ・宿泊学習（小）
- 10月29日～11月 9日 ・高等部後期就業体験
- 12月14日 ・校内駅伝大会
- 12月25日 ・二学期終業式
- 1月 7日 ・三学期始業式
- 2月 3日 ・第21回学習発表会・文化祭
- 3月 4日 ・第55回高等部卒業式 卒業生5名
- 3月15日 ・幼稚部第51回幼稚部修了式
- 3月20日 ・第62回小学部・第57回中学部卒業式（卒業生：小学部2名 中学部2名）
- 3月22日 ・小、中、高等部修了式・離任式

平成31年度

- 4月 1日 ・定期人事異動により 教諭他 14名赴任
- 4月 8日 ・一学期始業式、就任式
- 4月 9日 ・入学式 幼稚部1名 小学部2名 中学部2名 高等部2名
- 4月10日 ・開校記念集会
- 4月25日 ・中、高等部はなさき分校との対面式

令和元年

- 5月 1日 ・元号が「平成」から「令和」へ改元（1日より）
- 5月10日 ・中学部春の遠足
- 5月22日 ・幼稚部、小学部はなさき分校との対面式
- 5月24日 ・高等部、長野ろう学校との交流会
- 5月29日 ・はなさき分校合同火災避難訓練
- 6月24日～7月 5日 ・高等部前期就業体験学習
- 6月27日 ・中学部宿泊学習（恩納村～本部町）
- 7月19日 ・一学期終業式
- 9月 2日 ・二学期始業式
- 9月18日 ・中学部芸術鑑賞
- 9月26日～27日 ・小学部修学旅行（名護市、本部町、今帰仁村）
- 10月 3日～ 4日 ・九州地区聾学校陸上競技大会（宮崎大会）
- 10月27日 ・第43回運動会
- 11月 5日～15日 ・高等部後期就業体験学習
- 12月10日 ・高等部、真和志高校との交流会
- 12月13日 ・校内駅伝大会
- 12月25日 ・二学期終業式

令和2年

- 1月 6日 ・三学期始業式
- 1月14日～24日 ・高等部抽出現場実習
- 1月28日～31日 ・高等部1、2年修学旅行
- 3月 9日 ・第56回高等部卒業式 卒業生5名
- 3月13日 ・第52回幼稚部修了
- 3月19日 ・第63回小学部、第58回中学部卒業式（卒業生：小学部2名 中学部3名）
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 校長 幸地 英之 他職員離任

令和2年度

- 4月 1日 ・校長 安里 吉実 他職員就任
- 4月 7日～5月20日 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策「学校臨時休業」
- 5月21日 ・一学期始業式、就任式
- 5月22日 ・入学式 幼稚部4名 小学部1名 中学部2名 高等部3名
- 8月 1日～10日 ・夏季休業
- 8月12日～23日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策「学校臨時休業」
- 8月31日 ・一学期終業式
- 9月 1日 ・二学期始業式、台風9号接近により臨時休業
- 9月 2日 ・旧盆による臨時休業
- 12月25日 ・二学期終業式

令和3年

- 1月 6日 ・三学期始業式
- 2月 7日 ・第22回学習発表会・文化祭
- 2月25日 ・卒業生を送る会
- 3月 8日 ・第57回高等部卒業式 卒業生6名
- 3月12日 ・第53回幼稚部修了
- 3月17日 ・第64回小学部、第59回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部5名）
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 教頭 上運天 滋 他職員離任

令和3年度

- 4月 1日 ・定期人事異動により 教頭 川満 恵 他26名赴任
- 4月 7日 ・一学期始業式、就任式
- 4月 8日 ・入学式 幼稚部4名 小学部3名 中学部1名 高等部7名、入舎式
- 4月13日 ・開校記念集会
- 4月16日 ・中学部・高等部春の遠足（県総合運動公園）
- 4月28日 ・幼稚部春の遠足（沖縄子どもの国）
- 5月 7日 ・小学部春の遠足（ウォークラリー）
- 6月7日～20日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策「学校臨時休業」
- 7月20日 ・一学期終業式
- 7月21日 ・台風6号接近による「暴風警報」発令に伴う臨時休業（高等部のみ）
- 9月 1日 ・二学期始業式
- 9月29日 ・沖縄ろう学校・はなさき支援学校 地域合同想定・地震・津波・土砂災害避難訓練
- 10月31日 ・第44回運動会・体育祭
テーマ「走れ！ 飛べ！ 笑え！ その汗が絆を強くする。
～みんなで力を合わせて完全燃焼～」
- 11月18日～19日 ・小学部修学旅行（名護市、本部町）
- 12月24日 ・二学期終業式

令和4年

- 1月 6日 ・三学期始業式
- 2月24日 ・卒業生を送る会
- 3月 4日 ・第58回高等部卒業式 卒業生2名
- 3月 9日～14日 ・幼稚部新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため学部閉鎖
11日の幼稚部修了式は、18日へ延期
- 3月15日 ・第65回小学部、第60回中学部卒業式（卒業生：小学部5名 中学部2名）
- 3月18日 ・第54回幼稚部修了
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 定年退職 校長 安里 吉実 主幹教諭 仲原 美奈子
事務長 田場 一典 他職員離任

令和4年度

- 4月 1日 ・定期人事異動により 校長 大城 麻紀子 事務長 比嘉 勝人 他14名赴任
- 4月 7日 ・一学期始業式、就任式
- 4月11日 ・入学式 幼稚部7名 中学部2名 高等部2名、入舎式
- 5月21日 ・土曜参観日及びPTA総会
- 7月22日 ・一学期終業式
- 8月31日 ・台風11号接近に伴う臨時休業（高等部3年生のみ）
- 9月 1日 ・二学期始業式
- 9月29日～30日 ・第57回九州地区聾学校体育・文化連盟沖縄大会
29日総合開会式、交流会、県総合運動公園
30日陸上競技大会、総合閉会式、沖縄市陸上競技場
- 10月 6日 ・幼稚部秋の遠足（子どもの国）
- 10月12日～13日 ・小学部宿泊学習（御菓子御殿本店、石川青少年の家、ビオスの丘）
- 11月30日～12月2日 ・中学部修学旅行（福岡県、大分県）
- 12月13日～16日 ・高等部修学旅行（東京都、千葉県）
- 12月23日 ・二学期終業式

令和5年

- 1月 6日 ・三学期始業式
- 2月 5日 ・第23回学習発表会・文化祭
テーマ「猪突猛進！沖縄ろう学校の本気をみせろ！
～感動と勇気をこの手で伝えよう～」
- 3月 3日 ・第59回高等部卒業式 卒業生3名
- 3月14日 ・第55回幼稚部修了
- 3月16日 ・第66回小学部、第61回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部2名）
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 定年退職 教諭 本成 美和子 介助員 佐和田 裕人
教頭 川満 恵 他職員離任

2 歴代管理職（校長、副校長・教頭、事務長）及びPTA会長一覧（敬称略）

年度	校長	副校長・教頭	事務長	P T A会長
令和5年	大城 麻紀子	比嘉 淳	比嘉 勝人	島袋 雄介
令和4年	大城 麻紀子	川満 恵	比嘉 勝人	玉那覇 恵美理
令和3年	安里 吉実	川満 恵	田場 一典	玉那覇 恵美理
令和2年	安里 吉実	上運天 滋	田場 一典	照屋 信之
令和1年 (平成31年)	幸地 英之	上運天 滋	比嘉 弘幸	垣花 水貴
平成30年度	幸地 英之	上運天 滋	比嘉 弘幸	垣花 水貴
平成29年度	幸地 英之	下地 靖子	長濱 玲子	大濱 美和
平成28年度	又吉 安一	下地 靖子	長濱 玲子	本田 田都子
平成27年度	又吉 安一	下地 正也	長濱 玲子	照屋 国子
平成26年度	真謝 孝	下地 正也	上原 和弘	照屋 国子

3 学校経営

沖縄県立沖縄ろう学校

1. 学校の教育方針(アドミッション・ポリシー)

聴覚に障害のある幼児児童生徒の持てる力を最大限に伸ばし、生きる力(自ら学ぶ意欲と社会に主体的に関わる力)を育み、社会的・生活的・職業的に自立し社会参加できる人間を育成する。

- (1) 校訓 : 豊かなことば 強い心 健やかな体
- (2) 目指す子供像
 - ① 進んで学び、よく考えて行動する子(自立、自主性、表現力、判断力)
 - ② 心豊かで、思いやりのある子(親切、礼節、感謝、協力)
 - ③ 健康で明るく、たくましい子(元気、明朗、忍耐力、勤労)

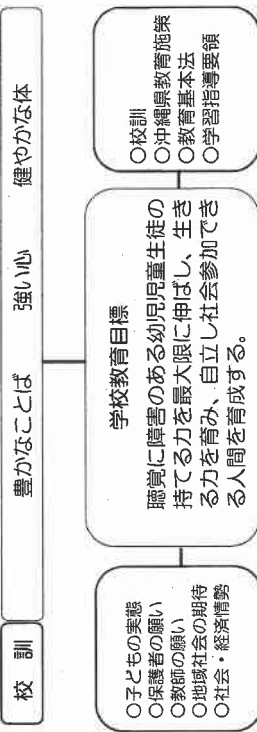
2. 育成を目指す資質・能力(グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 本校における育成を目指す資質・能力
 - ① 日本語力、学力 ② コミュニケーション力 ③ 主体的に学ぶ(関わる)力 ④ 他者と協働して取り組む力
- (2) 育成すべき資質・能力(三つの柱)を踏まえた具体的目標
 - ① 保有する聴覚、手話を含めた視覚的情報等、様々な手段を活用して日本語力を習得し、社会参加に必要なコミュニケーション力を高め、様々な活動に主体的に取り組むことができるようにする。
 - ② 社会的・生活的・職業的自立を目指し、自分自身を見つめ直したり他者と関わりあったりすることで自己の障害を手認識し、自分でできることを増やし、社会と主体的に関わるために必要な知識、技能、態度及び習慣を身に付け、自ら進んで行動できるようにする。
 - ③ 目標を実現するための見通しを持ちながら主体的に学びに向かい、基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、身に付けた知識・技能を活用し、様々な情報を客観的に整理するなど、課題を見出したり解決したりするために必要な思考力、判断力、表現力を育む。
 - ④ 他者との対話や議論を通じて、自分の考えを論理的に伝えられるようにするとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができるようにする。
 - ⑤ 変化する社会の中でも感性を豊かに働かせ、社会や世界とのつながりを意識し、試行錯誤しながら問題を発見・解決することで、よりよい社会や人生を実現しようとする態度を養う。

3. 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- (1) 教師自らが人権意識を強く持ち、幼児児童生徒一人一人を大切に、豊かな人間性を育む教育活動を行う。
- (2) 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用して、一貫性のある「計画・指導・評価」の一体化を図り、一人一人の教育的ニーズに基づく教育実践を行う。
- (3) 学校の教育活動全体で、幼児児童生徒の日本語力及び学力を高める指導を行う。
- (4) 職員一人一人が、手話に関する知識と技能の向上に努め、多様な視覚情報を活用して学び残しのない「わかる授業」を行う。
- (5) 一人一人の生活的・社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」を実践する。
- (6) 集団での活動や生活を通して、人間相互の関係や規律を理解させ、豊かな心を育む指導の充実を図る。
- (7) 健康でたくましい体づくりを目指すため、自ら体力づくりに励む態度を養う。
- (8) 生活的・社会的・職業的自立に必要な生活習慣やマナー(身辺整理や清潔な身なり、時間励行、報・連・相)などの習慣習得を目指す寄宿舎教育を行う。
- (9) 幼児児童生徒一人一人が、自己肯定感及び自己有用感の高揚を促し、自信を生み出す指導を行う。
- (10) 自己理解及び他者理解を促し、人間関係形成能力の発達を目指すとともに社会で生きていく力の育成を図る。

沖縄県立沖縄ろう学校 グランドデザイン



- 【目指す学校像】
- 1 聴覚の障害に関する専門的な教育が行われ、一人一人の可能性を最大限に伸ばす学校
 - 2 地域における特別支援教育（聴覚障害）のセンター的役割を果たし、保護者、地域から信頼される学校
 - 3 個に合った教育を行うことにより、幼児児童生徒の自己実現と社会参加・自立を促進し、社会に貢献できる人材を育成する学校
 - 4 教職員が個々の特性を発揮するやりがいのある学校
- 【目指す子供像】
- 1 進んで学び、よく考えて行動する子（自立、自主性、表現力、判断力）
 - 2 心豊かで、思いやりのある子（親切、礼節、感謝、協力）
 - 3 健康で明るく、たくましい子（元氣、明朗、忍耐、勤労）
- 【目指す職員像】
- 1 子供一人一人を理解し、子供に寄り添う教職員
 - 2 子供の主体性を信じ、授業改善・充実を図る教職員
 - 3 教育専門家として自信と誇りを持ち、日々の教育実践に取り組む教職員
 - 4 保護者の思いや願いを受け止め、その期待にこたえる教職員
 - 5 教育公務員としての自覚と責任を持ち、同僚性を発揮する教職員
 - 6 チーム学校の一員として、学校運営に主体的に参画する教職員

重点目標

一人一人の社会的・生活的・職業的自立に向けて必要な日本語力やコミュニケーション力、「生きる力」の基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」を実践する。

具体的方針

- 学習指導要領の主旨に沿った教育課程の改善・充実を図り、幼・小・中・高等部が連携した系統性・一貫性のある教育課程の編成を図り、主体的、対話的な学習のある授業改善を行う。
- 国語、自立活動を中心に、各教科、領域等学校の教育活動全体で、幼児児童生徒の日本語力を高める指導を行う。
- 手話やICT機器の活用等、多様な視覚的情報保障を充実した「わかる授業」を行う。
- 学校での教育活動や学校間、居住地域交流等、多様な場での交流および共同学習や就業体験等を通して、自己理解及び他者理解を促し、人間関係形成能力の発達を目指すと共に社会で生きていく力の育成を図る。
- 異年齢での集団生活を通して、相互の関係や規律を理解する豊かな心を育む指導の充実を図る。
- 健康でたくましい体づくりを目指すため、自ら体力づくりに励む態度を養う。
- 生活的・社会的・職業的自立に必要な生活習慣やマナー（身辺整理や清潔な身なり、時間厳行、報・連・相）などの習慣習得をめざす寄宿舍教育を行う。

職員一人一人が、聴覚障害教育の専門性を高め、幼児児童生徒一人一人を大切に豊かな人間性を育む教育活動を行うとともに、県に1校の聴覚障害教育のセンター校としての役割を発揮する。

- 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の活用を図り、聴覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づき教育実践を行う。
- 保護者・地域・関係諸機関との連携を密にして、乳幼児期からの早期教育及び一貫教育の充実を図る。
- 手話言語条例の施行に伴い、手話に関する知識と技能の向上に努める。
- 保護者と協働した持続可能なPTA活動を行う。
- 校内の支援体制を充実させると共に、保護者や地域、関連機関と連携して地域のセンター的役割を遂行する。
- 体験授業やオンライン授業、教育相談、通級指導教室を充実して、聴覚障害のある幼児児童生徒の指導・支援を行う。
- 各広報紙やホームページを活用して、地域や社会に対して学校の教育活動の理解啓発を積極的に行う。

教職員がチーム学校の一員としての自覚と誇りを持ち、幼児児童生徒が安全・安心な学校生活を送るための体制を整え、教職員が働きやすい学校づくりをする。

- 幼児児童生徒の安全・安心な教育活動のため、安全教育の推進と安全管理の徹底を図る。
- 職員一人一人が人権意識の高揚を図り、幼児児童生徒、教職員が自他を大切に話し、話しやすい、相談しやすい環境にする。
- 三師やスクールバス、給食関係者との連携を図り、感染症防止対策を含めた安全教育の推進と安全管理を徹底する。
- はなさき支援学校と連携した避難訓練や幼児児童生徒の緊急時対応マニュアル作成等、安全部を中心に危機管理徹底する。
- 学校予算の適正・効率的な執行と私費会計事務の適正・透明化を図る。
- 用児童生徒の情操を育てる自然豊かな校内緑化等の環境整備の長期的なビジョン策定と実施に取り組む。
- チーム学校として協働する人間関係づくりを進め、規律遵守およびメンタルヘルスの安定を図る。
- 毎月1回ノー会議デー、定時退勤デーを設定し、ワークライフバランスを

4 各学部の教育課程

(1) 幼稚部

(1) 幼稚部の教育目標

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることを踏まえて、幼児一人一人の特性に応じ、次の目標の達成に努める。

- ① コミュニケーションする意欲や態度を育て、日常生活に必要な言葉を身につけさせる。
- ② 元気なからだ、感動する心、考える力を育てる。
- ③ お互いに関わり、認め合う力を育てる。
- ④ 身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。

目指す幼児像

- | | |
|--------------------|--|
| ○ 心身ともに健康で、明るい子 | ・ 進んで挨拶をする子
・ のびのびと体を動かす子 |
| ○ よく見て、よく聞いて、よく話す子 | ・ 身振りや言葉で進んで話す子
・ 補聴器等を活用し話をよく聞く子
・ 口元をよく見て読話する子 |
| ○ みんなと仲良く遊ぶ子 | ・ みんなと仲良く協力して遊ぶ子
・ みんなと仲良く工夫して遊ぶ子 |

(2) 教育課程の編成方針

- ① 幼児の障害の状態及び発達の段階や特性、生活体験等を考慮して編成する。
- ② 親子共学のもと、家庭、地域及び関係機関との連携を図り編成する。
- ③ 幼稚部における教育において育みたい資質・能力を踏まえつつ、心身の調和的発達の基礎が培われるように、健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動の6領域について相互に関係を持たせ、具体的な活動を通して総合的に指導が行われるよう編成する。
- ④ 幼稚部における教育と小学部における教育又は小学校教育との円滑な接続が図れるよう編成する。

(3) 各領域の指導の重点

* 学びに向かう力、人間性（以下【学】とする。）知識及び技能（以下【知】とする。）

思考力、判断力、表現力（以下【思】とする。）の資質・能力の3つの柱と表記する。

- | | |
|--------|--|
| ① 健康 | ○ 基本的な生活習慣を身につける。【知】
○ 様々な活動や遊びに興味を持ち、思い切り体を動かす楽しさを味わう。【学】
○ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しをもって行動する。【思】 |
| ② 人間関係 | ○ 幼稚部での生活を楽しみ、自分の力で行動する充実感を味わう。【学】
○ すずんで身近な人と関わりをもち、工夫したり、協力したりして一緒に行動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。【思】
○ 社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。【知】 |
| ③ 環境 | ○ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。【学】
○ 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。【思】
○ 日常生活の中で、事象や数量、文字などに関心を持つ。【知】 |

- ④ 言葉 ○自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。【学】
○人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。【思】
○絵本や物語などに親しみ、想像力を豊かにする。【知】
○したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを自分なりに言葉で表現する。【思】
- ⑤ 表現 ○感じたこと、考えたこと、経験したことなどを伝え合う楽しさを味わう。
【思】
○歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりして、音楽に親しむ。【学】
○伸び伸びと絵をかくたり、物を作ったりすることができる。【知】
- ⑥ 自立活動 ○個々の幼児が自立を目ざし、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。
・補聴器等の装用を習慣づけ、聴覚を活用することができる。
・保有する感覚を活用し、認知や行動の手がかりとしての概念の形成を図る。
・言葉に興味をもたせ、聴くこと、話すこと、読むこと、書くことへの意欲を高め、日常生活の中でも活用できる。
・コミュニケーションの基礎的能力を習得するための素地を養う。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 交流先の幼児と活動を共にすることで、様々な触れ合いや出会いの体験を豊かにする。
- ② 交流先でのいろいろな経験を通して、幼児個々の社会性及び自立心の芽生えを育む。
- ③ 日頃の保育の中で培った幼児自身の伝え合う力（コミュニケーション力）が、交流先の同年齢集団の中でも発揮できる。
- ④ 交流先の幼児との交流を通して、お互いを知り、地域での関わりを広げる。

(5) キャリア教育の重点

- ① 身近な人や友だちに親しみをもって、あいさつをかわすことができる。
- ② いろいろな活動を通して経験を広げ、好奇心や探究心をもって主体的に関わろうとする意欲を持つ。
- ③ 自分には補聴器等が必要なことがわかり、大切に扱うことができる。

(6) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① すすんで身近な人と関わり、一緒に考えたり、工夫したり、協力しながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ② いろいろな遊びを楽しみながら、物事をやり遂げる達成感を味わい、自信をもって行動する。

(7) 安全に関する指導の重点

- ① 危険な場所を知り、一緒に安全な行動ができる。
- ② 施設や遊具、用具等の正しい使い方を知り、安全に使える。
- ③ 交通の決まりを知り、安全に気をつけて行動ができる。
- ④ 火事や地震の災害時や不審者侵入時に教師と一緒に適切な行動ができる。

(8) 教育日数、教育時数及び教育週数の配当

年齢(歳児)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
3歳児	教育日数	15	20	21	13	0	20	21	18	17	18	19	7	189
	教育時数	51	84	89	53	0	96	101	90	83	88	95	31	861
	教育週数	41週												
4歳児 5歳児	教育日数	15	20	21	13	0	20	21	18	17	18	19	7	189
	教育時数	52	96	102	59	0	107	112	101	92	98	107	34	960
	教育週数	41週												

(9) 年間行事計画

学期	月 日	曜日	行 事 名	備 考
1 学 期	4月10日	月	令和5年度 入学式(幼・小・中・高)	
	4月27日	水	春の遠足	
	5月 2日	火	内科健診	
	5月26日	金	心電図・胸部X線検査	
	6月 1日	木	火災避難訓練	はなさき合同
	7月20日	木	1学期終業式	
2 学 期	9月 1日	金	2学期始業式	
	9月27日	水	地震津波火災避難訓練	はなさき合同
	10月22日	日	運動会	
	12月25日	月	2学期終業式	
3 学 期	1月 5日	金	3学期始業式	
	3月 1日	金	第60回 高等部卒業式	
	3月11日	月	第56回 幼稚部修了式	

(2) 小学部

(1) 小学部の教育目標

- ① 学習に必要な基礎的言語力を身につけ、基本的なコミュニケーション能力を育てる。
- ② 思考力、判断力、表現力などの能力を育てると共に基礎学力の習得をめざす。
- ③ 集団を意識し、自主性、協調性や思いやりの心を育てる。
- ④ 基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健康で明るい子に育てる。

(2) 教育課程の編成方針

- ① 一般学級においては学習指導要領を基に小学校に準じた教育課程を編成し、児童の実態に応じて指導内容及び指導時数を弾力的に設定する。
- ② 重複障害学級（知的代替）においては、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で、個々の児童の実態に応じて効果的に実施するために教科別の指導や教科等を合わせた指導を弾力的に編成ができるようにする。
- ③ 全児童について、個別の教育支援計画に基づいた個別の指導計画を作成し指導の充実を図る。
- ④ 児童の実態を十分把握し、各学年・各学部との連携のもとで一貫性のある教育課程を編成する。
- ⑤ 基本的生活習慣の形成と基礎学力の向上をめざし、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう編成する。
- ⑥ 少人数学級の実態を踏まえ、望ましい社会性や人間性を育てるため、集団活動や校内外における交流及び共同学習を計画的に実施し、その充実を図れるよう編成する。
- ⑦ 道徳科においては、学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科を要として各教科等それぞれの特質に応じて児童の発達の段階を考慮して適切に指導を行う。

(3) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導の重点 指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮する。

- ① 児童の発達段階に応じた体験的学習を通して、個々の実態に応じた言語概念の形成を図り、思考力の育成に努めること。
- ② 児童の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点を置いて指導すること。
- ③ 視覚的に情報を得やすい教材・教具やコンピュータ等の情報機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- ④ 児童の言語発達の程度に応じて、主体的に読書に親しむ態度を養うように工夫すること。
- ⑤ 補聴器等の利用により、児童の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑥ 児童の言語発達の程度や個に応じたコミュニケーション手段を活用し、ことばによる意思の相互伝達が活発に行われるように指導方法を工夫すること。
- ⑦ 外国語活動においては聞くこと、話すことを中心にして、外国語科は読むこと、書くことを加え、コミュニケーションの基礎的な資質能力の育成を充実させる。
- ⑧ 道徳的価値を自分のこととして理解し、多面的、多角的に深く考えたり、話したりする態度を育てる。

(4) 交流及び共同学習の重点

〈学校間交流〉

○大きな集団での活動を通して、生活経験の拡充を図り、社会性や協調性を養う。

○積極的に集団に参加する意欲を育て、同じ社会に生きる者として、お互いを理解し、関わり合いながらコミュニケーション能力を高める。

〈居住地校交流〉

○居住地校での交流及び共同学習を通して、生活経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を育む。

(5) 生徒指導の重点

- 小学生として必要な基本的な学習規律や生活態度を身につける。
- 自分や友達を大切にし、きまりを守りながら、楽しい学校生活をおくる態度を育てる。
- 自分の行動に責任を持って判断し、自主的な行動ができる。

(6) キャリア教育の重点

- 自己の抱える学習や社会生活上の困難について理解し、自立や社会参加に向けて持てる力を高める。
- 夢や希望を持ち、自分の好きなことや得意なことを見つけようとする態度を養う。
- 係活動等を通して、集団の一員として自分の役割を果たすために主体的に考えて行動することができる。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- 生涯の各時期において、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、新たな知識や技能、教養を身に付けることができるように以下の項目に取り組む。
- 生涯にわたり学習する基盤を支える確かな学力を育む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。
- 児童が自分の良さや可能性に気づき、積極的に伸ばそうとする態度を育て、自己肯定感を育む。
- 情報通信機器を積極的に活用する。
- 生涯を通じて心身共に調和のとれた健やかな体の育成を図る。
- 文化やスポーツなどに関し、家庭と連携しながら地域における活動や施設など情報収集に努める。

(8) 安全教育の重点

- 教育活動全般を通して、安全のために必要な事柄を理解し、望ましい行動ができる態度や能力を養う。
- 基本的な交通マナーを守り、安全な登下校ができる態度や能力を養う。
- 災害・非常時（地震・火災・不審者等）に適切な行動ができる能力を養う。

(9) ICT 利活用の重点

- iPad 等積極的な活用を通して、情報機器に慣れる。
- 写真や動画などを見て、学習を深めたり必要な情報を収集したりして、学習の充実を図る。
- 長文の作成や写真・音声・動画などを用いた多様な資料や作品の制作を通して、表現の幅を広げる。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	15	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	199
2年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	200
3年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	200
4年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	200
5年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	200
6年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	10	195
備考													

(11) 年間総授業時数 (I 課程)

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	備考
各教科	国語	306 (9)	315 (9)	280 (8)	245 (7)	210 (6)	210 (6)	
	社会			70 (2)	105 (3)	87.5 (2.5)	105 (3)	
	算数	204 (6)	245 (7)	210 (6)	210 (6)	192.5 (5.5)	175 (5)	
	理科			70 (2)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	
	生活	68 (2)	70 (2)					
	音楽	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
	図画 工作	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
	家庭科					35 (1)	35 (1)	
	体育	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
	外国語					70 (2)	70 (2)	
小計		714 (22)	770 (22)	770 (22)	805 (23)	840 (24)	840 (24)	
道徳科		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
外国語 活動				35 (1)	35 (1)			
総合的な 学習の時間				35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
特別活動		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
自立活動		68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
合計		850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	

(11) 一②年間総授業時数（Ⅱ課程 A）

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	備考
各教科	生活	204 (6)	245 (7)	280 (8)	280 (8)	280 (8)	280 (8)	
	国語	170 (5)	175 (5)	175 (5)	210 (6)	210 (6)	210 (6)	
	算数	102 (3)	140 (4)	140 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	
	音楽	68 (2)	70 (2)	70 (2)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
	図画 工作	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
	体育	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
小計		680 (20)	770 (22)	770 (22)	840 (23)	840 (23)	840 (23)	
道徳科		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
外国語 活動				35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
特別活動		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
自立活動		102 (3)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
合計		850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	

(11) —③年間総授業時数（Ⅱ課程B）

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	備考
各教科	生活	238 (7)	245 (7)	280 (8)	315 (9)	315 (9)	315 (9)	
	国語	136 (4)	140 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	
	算数	68 (2)	105 (3)	140 (4)	140 (4)	140 (4)	140 (4)	
	音楽	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
	図画 工作	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
	体育	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	
小計		646 (19)	700 (20)	805 (23)	840 (24)	840 (24)	840 (24)	
道徳科		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
外国語 活動								
特別活動		34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
自立活動		136 (4)	140 (4)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	
合計		850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	

(3) 中学部

(1) 中学部の教育目標

- ①基本的な言語力とコミュニケーション能力の定着を図り、基礎学力の向上を目指す。
- ②生徒相互の好ましい人間関係を育てると共に責任感、忍耐力、思いやりの心を育てる。
- ③健康保持および体力向上等の生活習慣を確立し、社会参加・自立に必要な基礎的な知識や態度を育てる。
- ④生徒が自ら主体的な生き方を考え行動するような態度や能力を育成し、主体的に進路選択ができるように指導を図る。

(2) 教育課程の編成方針

- ① 一般学級においては学習指導要領を基に中学校に準じた教育課程を編成し、生徒の実態に応じて指導内容を弾力的に選定する。
- ② 重複障害学級（知的代替）においては、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で、個々の生徒の実態に応じて効果的に実施するために、教科別の指導や教科等を合わせた指導を弾力的に行えるよう編成する。
- ③ 各学部、各学年の連携を図り、一貫性のある教育課程を編成する。
- ④ 各教科等の基礎的・基本的な事項に重点を置いて、指導の充実を図る。
- ⑤ 生徒の障害の状態や発達段階に即した指導が十分行われるよう弾力的に編成する。併せて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、指導の充実を図れるよう編成する。
- ⑥ 生徒の実態に応じ、他校及び地域社会との交流活動が図れるよう編成する。
- ⑦ 社会自立・参加に必要な基礎的な知識・技能及び態度を培う指導の充実が図れるよう編成する。

(3) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮する。

- ①体験的な活動等を通して的確な言語概念の形成を図り、生徒の発達に応じた思考力の育成に努めること。
- ②生徒の言語発達の程度に応じて、主体的に読書に親しむ態度を養うように工夫すること。
- ③生徒の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点を置いて指導するとともに、生徒の思考力・判断力・表現力を育む学習活動を行うこと。
- ④個に応じたコミュニケーション手段（聴覚口話や手話・指文字等）及び共通のコミュニケーション手段（手話）を活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑤補聴器等の利用により、生徒の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑥視覚的に情報を得やすい教材・教具やコンピュータ等の情報機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- ⑦生徒の言語発達の程度に応じて、言葉による意思の相互伝達が活発に行われるように指導方法を

工夫すること。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ①居住地校での活動を通して積極的な態度を養い、相互理解を深め自立と社会参加を促進する。
- ②普通中学校の授業に参加することで、自分の教科学習の力を認識し、今後の学習や進路について見通しを持たせる。
- ③同世代の生徒集団と関わることで自分の聞こえについて考え、自分と相手のコミュニケーション方法の違いを踏まえた工夫を行う。

(5) 生徒指導の重点

- ①中学生として必要な基本的生活態度を身につける。
- ②自己の属するさまざまな集団の意義を理解し、協力し合って集団生活ができる。
- ③自分の行動に責任を持って正しく判断し、自主的な行動ができる。

(6) キャリア教育の重点

将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための力を養う。指導に際しては、学校教育活動全体を通して行う。

- ①個別の教育支援計画をもとに、キャリアパスポート等を活用しながら、生徒の実態について職員全体で共通理解を深める。
- ②自己の進路について主体的意欲的に考える力を育むため、勤労・職業観を養う指導の充実に努める。
- ③希望進路等の把握に努め、個々の能力や適正に応じた情報提供に努めるとともに、生徒の情報活用能力を高める。
- ④就業体験及び事前・事後学習を通して、目標の明確化・評価・振り返りにより自己理解を深め、課題対応能力を高める。
中一6
- ⑤働く人の権利やルール（法や規制）を学ぶ「ワークルール教育」の充実に努める。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

生涯の各時期において、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、学んだことが社会に活かせるような生涯学習社会の形成を目指して、以下の項目に取り組む。

- ①生涯にわたり学習する基盤を支える確かな学力を育む。
- ②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。
- ③生徒が自分のよさや可能性に気づき、積極的に伸ばそうとする態度を育て、自己肯定感を育む。
- ④生涯学習の機会を拡充するため、情報通信機器を活用する。
- ⑤生涯を通じて心身共に調和のとれた健やかな体の育成を図る。
- ⑥文化やスポーツ等に関し、家庭と連携しながら地域における活動内容や施設などの情報収集に努める。

(8) 安全教育の重点

- ①日常生活で起こる事故の内容について見通しを持ち、安全に行動できるようにする。
- ②様々な交通場面における危険を理解し、安全に行動できる。
- ③様々な災害発生時における危険について理解し、適切な行動ができる。

(9) ICT 機器利活用の重点

- ①画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの視覚的で分かりやすい教材を活用し、学習課題等を効果的に提示・説明することで、学習活動を焦点化し、学習課題への理解を促す。
- ②学習者用コンピュータや大型提示装置を用いて、動画・アニメーション・音声等を含む指導者用デジタル教科書・教材を提示することにより、生徒の興味・関心の喚起を図る。
- ③情報端末を用いて、一人一人の特性や習熟の程度などに応じて、個に応じた学習を行い、知識・技能の習得を図る。
- ④インターネットやデジタル教材を用いた情報収集、観察における写真や動画等による学習課題に関する調査を行うことで、情報を主体的に収集・判断する力を身に付けさせる。
- ⑤写真、音声、動画等のマルチメディアを用いて多様な表現を取り入れた資料・作品を制作する中で、作品を通じた活発な意見交流を促す。
- ⑥情報端末や電子黒板等を用いて、個人の考えを整理して伝え合ったり、グループ内で複数の意見・考えを共有することで、思考力や表現力を培ったり、多角的な見方・考え方に触れさせる。

(10) 年間授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	15	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	199
2年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	15	200
3年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	10	195

様式5 中学部 (I) 課程

① 授業時数表

教科等		1年		2年		3年		備考	
各教科	国語	140	4	140	4	123	3.5		
	社会	105	3	105	3	140	4		
	数学	140	4	105	3	140	4		
	理科	88	2.5	140	4	140	4		
	音楽	35	1	35	1	35	1		
	美術	35	1	35	1	35	1		
	保健体育	87	2.5	87	2.5	70	2	保健を含む	
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	18	0.5	
	外国語	140	4	123	3.5	140	4		
	選択教科		0	0	0		0	0	
		0	0	0		0	0		
		0	0	0		0	0		
小計		840	24	840	24	858	24.5		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		70	2	70	2	52	1.5		
計		175	5	175	5	157	4.5		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

様式5 中学部 (II) 課程

② 授業時数表

教科等		1年		2年		3年		備考	
各教科	国語	175	5	175	5	175	5		
	社会	35	1	35	1	35	1		
	数学	105	3	105	3	105	3		
	理科	35	1	35	1	35	1		
	音楽	70	2	70	2	70	2		
	美術	70	2	70	2	70	2		
	保健体育	70	2	70	2	70	2	保健を含む	
	職業・家庭	職業分野	105	3	105	3	105	3	
		家庭分野	140	4	140	4	140	4	
	外国語	35	1	35	1	35	1		
選択教科		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
		0		0		0			
小計		840	24	840	24	840	24		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		70	2	70	2	70	2		
計		175	5	175	5	175	5		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

(4) 高等部

(1) 高等部の教育目標

- ① 言語力の充実と基礎学力の確かな向上をめざし、社会参加のための豊かなコミュニケーション能力を身につけさせる。
- ② 望ましい勤労観・職業観を育成し、自立して社会参加するための知識・技能・態度を養う。
- ③ キャリア教育を通して自己理解や他者理解を深め、人間関係形成能力の発達と社会で生きていく力の育成、希望する進路実現を目指す意欲と態度を育てる。
- ④ 健康・安全に対する意識を高め、生涯を通して健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。
- ⑤ 人権感覚を磨き、一人ひとりを大切にする豊かな人間性、忍耐強い心、生きる力を育て、社会人としての素地を培う。

(2) 教育課程編成の方針

- ① 卒業後、自立し社会参加をするために必要な目指すべき資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考・判断・表現等」「学びに向かう力、人間性等」）を明確にした上で教育目標や内容等を設定する。
- ② 一般学級においては、学習指導要領を基に高等学校に準じた教育課程を編成し、生徒の実態に応じて指導内容を弾力的に選定する。
- ③ 重複障害学級（知的代替）においては、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で個々の生徒の実態に応じて効果的に実施するために教科別の指導や教科等を合わせた指導を弾力的に編成できるようにする。
- ④ 各学部、各学年間の連携を図り、学びの連続性を重視した指導内容等を編成する。
- ⑤ 教科横断的な視点も含め、各教科等の基礎的・基本的な事項に重点を置き、自立活動との関連も押さえた指導の充実を図る。
- ⑥ 生徒の障害の状態や発達段階に即した指導が十分に行われるよう弾力的に編成する。
- ⑦ 自立と社会参加を目指すために、一人一人のキャリア形成と自己実現に必要な知識・技能及び態度を培う指導の充実を図る。
- ⑧ 望ましい集団活動（他校との交流教育含む）を通して、自他の理解やコミュニケーション能力等の人間関係形成能力を育み、自主的・実践的態度の育成を図る。
- ⑨ 個別の指導計画及び個別の移行支援計画を作成し指導の充実が図れるよう編成する。

(3) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、教科横断的な視点や学びの連続性を踏まえた上で、次の事項に配慮する。

- ① PDCA サイクルを踏まえた年間指導計画を作成し、各学年の内容の取り扱いに当たっては、適切な評価や教育課程編成に繋げ、カリキュラムマネジメントを推進する。
- ② 生徒の積極的な言語活動を促し、抽象的、論理的な思考力の伸長に努める。
- ③ 生徒の言語力に応じた読書指導を行い、適切な読書習慣の形成を図り、主体的に情報を獲得し、適切に選択・活用する態度を養うようにする。
- ④ 生徒の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点をおいて指導する。
- ⑤ 補聴器・人工内耳及び聴覚支援システムの利用により、生徒の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにする。
- ⑥ 視覚的に情報を得やすい教材・教具や ICT 機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにする。
- ⑦ 生徒の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段の有効な活用を図り、意志の相互伝達が正確かつ効率的に行われるようにする。
- ⑧ 生徒の障害の実態や多様性等を踏まえ、学習の形態・方法や内容等を柔軟に対応し、学習保障と効果的な学習活動が行えるよう配慮する。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 他校との交流を通して生徒相互の理解を深める。
- ② 幅広い体験活動を通して視野を広め、豊かな人間性や社会性を養う。
- ③ 障害を認識し、積極的に社会に参加する意欲を育てる。

(5) 生徒指導の重点

- ① 高校生として必要な基本的生活態度や規範意識を身につける。
- ② 自己の属するさまざまな集団の意義を理解し、協力し合って集団生活ができる。
- ③ 自分の行動に責任を持って正しく判断し、自主的な行動ができる。

(6) キャリア教育の重点

- ① 目的意識を持ち、自分で考え、計画し、行動に移し、様々な人々と協同して社会を支えることのできる能力・態度を養う。
- ② 生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく事（キャリア発達）を促す。
- ③ キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成し、それらは教育活動全体を通して、組織的及び系統的に行われる。
- ④ 生徒たちの実態を踏まえてキャリア教育の目標を設定し、教科横断的な視点で教育の内容を組織的に配列して教育課程を編成し、それを実践し、評価し、改善を図っていく。
- ⑤ 教育活動全体を通して「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」をもとにした個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援を行う。
- ⑥ キャリア教育で育成すべき能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の向上を推進する。
- ⑦ 就業体験実習をキャリア教育の重要な取り組みとして位置づける。
- ⑧ 授業展開の中にキャリア教育としての価値が潜んでいる場合に、その価値を見だし、学校の学びと社会とのつながりの意識を促す。
- ⑨ 特別活動で行っている活動をつなぎ、振り返ったり、見通したりする活動をキャリアパスポートによって積み重ねていくように、教師が対話的に関わり指導する。またそれにより、生徒は自己理解を、教師は生徒理解を深めることとする。
- ⑩ 聴覚障害者が事業所で直面しがちなコミュニケーションに関する課題について教育活動全体を通して指導する。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 学校教育を通して身に付けた資質・能力を活用し、卒業後も必要な支援を受けながら、学習、文化など生涯を通して豊かな生活が送れるよう知識や能力、態度を養う。

(8) ICT 機器利活用の重点

- ① 生徒の情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。
- ② 各教科において生徒に ICT 機器を適切かつ主体的、積極的に活用させ、情報社会に参画する態度の育成を図る。

(9) 安全教育の重点

- ① 健康で安全な生活を営むための、習慣や態度を育てる。
- ② 防災についての意識を高め、災害時に正しい判断で行動する実践力をつけるようにする。

(10) 授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	15	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	13	197
2年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	13	198
3年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	18	19	1	186

教科	科目 (必修・必履修)	標準 単位数	備考	1学年				2学年				3学年			
				進学	就労	進学	就労	進学	就労	進学	就労	進学	就労	進学	就労
				年時数	文系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	文系 週時数
国語	現代の国語	2		70	3	105									
	言語文化	2		70	2	70								2	70
	国語表現	4												1	35
	文学国語	4												2	70
	論理国語	4													
地理歴史	古典探究	4													
	地理総合	2													
	歴史総合	2		70	2	70									
	地理探究	3													
	日本史探究	3													
公民	世界史探究	3													
	公共	2	原則1～2年 履修	70	2	70	3	105							
	数学Ⅰ	3	2年まで履修	105	3	105									
	数学Ⅱ	4													
	数学Ⅲ	3													
数学	数学A	2		105											
	数学B	2													
	数学C	2													
	科学と人間生活	2			2	70									
	物理基礎	2	「科学と人間生活」 の「十」を付した 科目(必修) 「物理基礎」を 付した科目を1科目												
理科	化学基礎	2													
	生物基礎	2		70											
	体育	7～8		70											
	保健	2													
	美術Ⅰ	2													
芸術	美術Ⅱ	2													
	英語コミュニケーションⅠ	3	2年まで履修	105	4	140									
	英語コミュニケーションⅡ	4													
	英語コミュニケーションⅢ	4													
	家庭総合	4													
情報	情報Ⅰ	2		35	1	35									
	産業社会と人間	2		70	2	70									
	小計			945	27	945	27	945	27	945	26	910	25	875	
	道徳(科)														
	特活・HR	1		35	1	35									
総合的な探究の時間	自立活動	2		35	1	35									
	総合的な探究の時間	1		35	1	35									
	小計			1050	30	1050	30	1050	30	1050	29	1015	30	1050	
	合計			30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	29	1015	30	1050

教育活動全般で指導

教科	科目 (必修・必修 修)	標準単 位数	1学年				2学年				3学年			
			理系 週時数	文系 週時数	年時数	週時数	年時数	理系 週時数	文系 週時数	年時数	理系 週時数	文系 週時数	年時数	週時数
国語	現代の国語	2	2	70	2	70	3	105						
	言語文化	2	2	70	2	70	2	70					1	35
	国語表現	4							2	70	2	70	2	70
	文学国語	4							2	70	2	70	2	70
	論理国語	4							2	70	2	70	2	70
地理歴史	古典探究	4							2	70	2	70	2	70
	地理総合	2							2	70	2	70	2	70
	歴史総合	2							2	70	2	70	2	70
	地理探究	3							2	70	2	70	2	70
	日本史探究	3							2	70	2	70	2	70
公民	世界史探究	3							2	70	2	70	2	70
	公共	2	2	70	2	70	3	105						
	数学I	3	2	70	3	105	3	105						
	数学II	4							2	70	2	70	2	70
	数学III	3							2	70	2	70	2	70
数学	数学A	2	2	70					1	35	1	35	1	35
	数学B	2							2	70	2	70	2	70
	数学C	2							2	70	2	70	2	70
	科学と人間生活	2							2	70	2	70	2	70
	物理基礎	2							2	70	2	70	2	70
理科	化学基礎	2							2	70	2	70	2	70
	生物基礎	2	2	70					2	70	2	70	2	70
	体育	7~8	2	70	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105
	保健	2	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	美術I	2	2	70	2	70	2	70						
芸術	美術II	2							2	70	2	70	2	70
	英語コミュニケーションI	3	3	105			3	105						
	英語コミュニケーションII	4							3	105	3	105	3	105
	英語コミュニケーションIII	4							3	105	3	105	3	105
	家庭総合	4							2	70	2	70	2	70
情報	情報I	2	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	学校設定 産業社会と人間		3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105
	小計		26	910	26	910	26	910	26	910	26	910	26	910
	道徳(科)													
	特活・HR	1	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
総合的な探究の時間	自立活動	1	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70
	総合的な探究の時間	1	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	小計		30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050
	総合的な探究の時間													
	総合的な探究の時間													

教育活動全般で指導

様式7 沖縄ろう学校高等部 年間総授業数配当表(R3年度入学)

沖縄ろう学校

			1学年				2学年				3学年								
教科	科目	標準 単位数	必修科目 (単位数に○ を付した科目 又は定選のど か)		進学		就労		進学		就労		進学		就労				
			理系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	理系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	理系 週時数	年時数	文系 週時数	年時数	理系 週時数	年時数			
国語	国語総合	4	○	4	140	4	140	5	175		0	0	3	105	0	3	105		
	国語表現	3			0	0	0	0	0	0	0	2	70	0	2	70			
	現代文B	4			0	0	0	0	3	105	3	105	3	105	3	105	0	0	
	古典B	4			0	0	0	0	2	70	2	70	2	70	2	70	0	0	
地理歴史	世界史A	2		2	70	2	70	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	世界史B	4	○		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本史A	2			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本史B	4	○		0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	140	0	0	0	
公民	地理A	2			0	0	0	0	2	70	2	70	2	70	0	0	0	0	
	地理B	4			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	現代社会	2	7	2	70	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	
	倫理	2	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
数学	政治・経済	2			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	数学Ⅰ	3	○	3	105	3	105	3	105	0	0	1	35	0	0	0	0	0	
	数学Ⅱ	4			0	0	0	0	4	140	0	0	0	0	0	0	0	0	
	数学Ⅲ	5			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理科	数学A	2		2	70	2	70	0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	
	数学B	2		2	0	0	0	0	1	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
	数学活用	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	科学と人間生活	2		2	0	0	0	2	70	2	70	0	0	0	0	3	105	3	105
保健体育	物理基礎	2	※		0	0	0	0	0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	
	化学基礎	2	※		0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物基礎	2	※		2	70	0	0	0	0	0	2	70	0	0	2	70	2	70
	体育	7~8	○	3	3	105	3	105	3	105	2	70	2	70	3	105	3	105	
芸術	保健	2	○	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	0	1	35	0
	美術Ⅰ	2	※	2	70	2	70	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美術Ⅱ	2			0	0	0	0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	0
	音楽基礎	2			0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国語	英語Ⅰ	3	○	3	105	3	105	0	0	0	0	2	70	0	0	0	2	70	0
	英語Ⅱ	4			0	0	0	0	2	70	3	105	3	105	3	105	0	0	0
	英語表現Ⅰ	2			0	0	0	0	2	70	2	70	0	0	1	35	0	0	0
	英語表現Ⅱ	2			0	0	0	0	2	70	2	70	0	0	0	0	0	0	0
家庭	家庭基礎	2			0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭総合	4			0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会と情報	2			0	0	0	0	1	35	1	35	1	35	1	35	2	70	0
	職業	2			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校設定	進級(科)	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	特活・HR	1		2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70
総合的な探究の時間	自立活動	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	2	70
	総合的な探究の時間	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	2	70
小計				26	910	26	910	26	910	26	910	26	910	26	910	26	910	26	910

教育活動全般で指導

様式7 高等部普通科（Ⅱ）課程

② 授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		備考
各学科に共通する各教科	国語	105	3	105	3	105	3	
	社会	35	1	35	1	35	1	
	数学	70	2	70	2	70	2	
	理科	35	1	35	1	35	1	
	音楽	35	1	35	1	35	1	
	美術	70	2	70	2	70	2	
	保健体育	105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業	350	10	350	10	350	10	
	家庭	35	1	35	1	35	1	
	外国語	35	1	35	1	35	1	
	情報	35	1	35	1	35	1	
		0		0		0		
	学校設定教科	0		0		0		
		0		0		0		
共通教科・科目単位数計		910	26	910	26	910	26	
道徳科		35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間		35	1	35	1	35	1	
特別活動 ホームルーム活動		35	1	35	1	35	1	
自立活動		35	1	35	1	35	1	
計		140	4	140	4	140	4	
合計		1050	30	1050	30	1050	30	

5 使用教科書一覧

小学部(Ⅰ課程)

(1)教科書

教科名等	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
	番号	略称			
国語	38	光村		こくごー かざぐるま	1
	38	光村		こくご二 たんぽぽ	2
	38	光村		国語三 わかば	3
	38	光村		国語四 かがやき	4
	38	光村		国語五 銀河	5
	38	光村		国語六 創造	6
社会	17	教出		小学社会3	3
	17	教出		小学社会4	4
	17	教出		小学社会5	5
	17	教出		小学社会6	6
算数	11	学図		みんなとまなぶしょうがつこうさんすう1	1
	11	学図		みんなと学ぶ 小学校算数 2年	2
	11	学図		みんなと学ぶ 小学校算数 3年	3
	11	学図		みんなと学ぶ 小学校算数 4年	4
	11	学図		みんなと学ぶ 小学校算数 5年	5
	11	学図		みんなと学ぶ 小学校算数 6年	6
理科	2	東書		新しい理科3	3
	2	東書		新しい理科4	4
	2	東書		新しい理科5	5
	2	東書		新しい理科6	6
生活	17	教出		せいかつなかよし	1
	17	教出		せいかつなかよし	2
音楽	27	教芸		小学校のおんがく1	1
	27	教芸		小学校の音楽2	2
	27	教芸		小学校の音楽3	3
	27	教芸		小学校の音楽4	4
	27	教芸		小学校の音楽5	5
	27	教芸		小学校の音楽6	6
図画工作	116	日文		ずがこうさく1・2上たのしいなおもしろいな	1
	116	日文		ずがこうさく1・2下たのしいなおもしろいな	2
	116	日文		図画工作3・4上ためしたよ見つけたよ	3
	116	日文		図画工作3・4下ためしたよ見つけたよ	4
	116	日文		図画工作5・6上見つめて広げて	5
	116	日文		図画工作5・6下見つめて広げて	6
家庭	9	開隆堂		小学校 わたしたちの家庭科5・6	5
	9	開隆堂		小学校 わたしたちの家庭科5・6	6
体育	208	光文		小学保健3・4年	3
	208	光文		小学保健3・4年	4
	208	光文		小学保健5・6年	5
	208	光文		小学保健5・6年	6
外国語	英語	17	教出	ONE WORLD Smiles5	5
		17	教出	ONE WORLD Smiles6	6
道徳		208	光文	しょうがくどうとく ゆたかなこころ 1年	1
		208	光文	小学どうとく ゆたかなこころ 2年	2
		208	光文	小学どうとく ゆたかな心 3年	3
		208	光文	小学どうとく ゆたかな心 4年	4
		208	光文	小学道徳 ゆたかな心 5年	5
		208	光文	小学道徳 ゆたかな心 6年	6
外国語活動			Let's Try! 1	Let's Try! 1	3
			Let's Try! 2	Let's Try! 2	4
国語	特別支援 学校 小学部 聴覚 障害者用	17	教出	国語B-121 こくご ことばのべんきょう一ねん	1
		17	教出	国語B-221 こくご ことばのべんきょう二ねん	2
		17	教出	国語B-321 こくご ことばのべんきょう三ねん	3
		17	教出	国語B-421 国語ことばのれんしゅう四年	4
		17	教出	国語B-521 国語ことばの練習五年	5
		17	教出	国語B-621 国語ことばの練習六年	6
	書写	38	光村	書写-504 書写	1~6
社会	地図	46	帝国	地図-302 小学生の地図帳3・4・5・6年	3~6

(1)教科書

教科名等		発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
生活		27-1	ひかりのく	D01	(家)202シリーズ たべもの202	1
国語		2	東書	C-121	こくご ☆	1・5
算数		17	教出	C-121	さんすう ☆	1・5
音楽		2	東書	C-121	おんがく ☆	1
		51-6	朝日新聞	523	たいこであそぼ おもしろドラム	5
図画工作		72-24	NHK出版	561	NHKノーゾーのひらめき工房レッツ！工作ピクニック	1
道徳		71-1	長岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモンスター きもちはなににいる？	1
		10-1	講談社	659	パーパ/パパえほん3 パーパ/パパのはこぶね	5

中学部(Ⅰ課程)

(1)教科書

教科名等		発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
国語		051	三省堂	702	現代の国語1	1
		051	三省堂	802	現代の国語2	2
		051	三省堂	902	現代の国語3	3
		002	東書	701	新しい書写一・二・三年	1, 2, 3
	特別支援学校 中学部 聴覚 障害者用	17	教出	国語B-121	国語 言語編	1, 2, 3
社会		046	帝国	703	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1, 2
		046	帝国	707	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	1, 2
		046	帝国	903	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	3
		046	帝国	702	中学校社会科地図	1, 2
数学		002	東書	701	新しい数学1	1
		002	東書	801	新しい数学2	2
		002	東書	901	新しい数学3	3
理科		002	東書	701	新しい科学1	1
		002	東書	801	新しい科学2	2
		002	東書	901	新しい科学3	3
音楽		027	教芸	702	中学生の音楽1	1
		027	教芸	803	中学生の音楽2・3上	2, 3
		027	教芸	804	中学生の音楽2・3下	2, 3
		027	教芸	752	中学生の器楽	1, 2, 3
美術		038	光村	702	美術1	1
		038	光村	802	美術2・3	2, 3
保健体育		002	東書	701	新しい保健体育	1, 2, 3
技術・家庭	技術分野	002	東書	701	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	1, 2, 3
	家庭分野	002	東書	701	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	1, 2, 3
外国語	英語	038	光村	705	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	1
		038	光村	805	Here We Go! ENGLISH COURSE 2	2
		038	光村	905	Here We Go! ENGLISH COURSE 3	3
道徳		116	日文	704	中学道徳 あすを生きる 1	1
		116	日文	804	中学道徳 あすを生きる 2	2
		116	日文	904	中学道徳 あすを生きる 3	3

(1)教科書

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
国語	現代の国語	183	第一	現国 716	高等学校 新編現代の国語	2
	言語文化	183	第一	現国 716	高等学校 新編言語文化	2
	国語表現	50	大修館	国表 701	国語表現	2
	国語総合	183	第一	国総 362	高等学校 改訂版 新編国語総合	3
地理歴史	地理総合	46	帝国	地総 703	高等学校 新地理総合	2
	地理総合	46	帝国	地図 702	新詳高等地図	2
公民	現代社会	183	第一	現社 322	高等学校 改訂版 新現代社会	3
数学	数学Ⅰ	7	第一	数Ⅰ 718	新編数学Ⅰ	2
	数学A	7	第一	数A 718	新編数学A	2
	数学活用	7	実教	数活 301	数学活用	3
理科	生物基礎	7	実教	生基 704	高校生物基礎 改訂版	2
	生物基礎	7	実教	生基 314	高校生物基礎 改訂版	3
保健体育	保健体育	50	大修館	保体 701	現代高等保健体育	2
	保健体育	50	大修館	保体 305	最新高等保健体育改訂版	3
芸術	美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 702	高校生の美術2	2
外国語	英語コミュニケーションⅡ	9	開隆堂	CⅠ 704	Amity English CommunicationⅡ	2
	コミュニケーション英語Ⅰ	205	三友	コⅠ 354	JOYFUL English CommunicationⅠ	3
家庭	家庭総合	50	大修館	家総 705	クリエイティブ・リビングCreative Living『家庭総合』で生活を作ろう	2
情報	情報Ⅰ	7	実教	情報 704	高校情報Ⅰ JavaScript	2
	社会と情報	7	実教	社情 312	高校社会と情報 改訂版	3

(2)準教科書、副読本

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
数学	数学Ⅰ	7	実教	数Ⅰ 719	新編数学Ⅰサポートブック	2
数学	数学A	7	実教	数A 719	新編数学Aサポートブック	2

6 週時程表

〔幼稚部〕

3歳児

曜日 時刻	月		火		水		木		金	
9:00 9:30 10:00 10:30 10:40 11:40 13:30 14:00	登校									
	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導
	朝の会 話し合い活動 (今週の話)		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動	
	自由あそび									
	リズム遊び (全体)		運動遊び (全体)		表現活動 (クラス・全体)		造形遊び (クラス・全体)		表現活動 (クラス・全体)	
	給食の準備 給食 メニューの確認・給食指導 片付け 歯磨き 帰りの会				給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き 帰りの会		給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き 帰りの会		給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き 帰りの会	
	自由遊び	個別指導	自由遊び	個別指導	帰りの会		自由遊び	個別指導	帰りの会	
					下校 (13:30)				下校 (13:30)	
	下校						下校			

4・5歳児

曜日 時刻	月		火		水		木		金	
9:00 9:30 10:00 10:30 10:40 11:40 13:00 13:40 14:00 14:30	登校									
	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導	朝の活動 補聴器等確認	個別指導
	朝の会 話し合い活動 (今週の話)		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動		朝の会 話し合い活動	
	自由あそび									
	リズム遊び (全体)		運動遊び (全体)		表現活動 (クラス・全体)		造形遊び (クラス・全体)		表現活動 (クラス・全体)	
	給食の準備 給食 メニューの確認・給食指導 片付け 歯磨き				給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き		給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き		給食の準備 給食 メニューの確認 片付け・歯磨き	
	自由遊び		自由遊び		帰りの会		自由遊び		帰りの会	
	帰りの会		帰りの会		下校 (13:30)		帰りの会		下校 (13:30)	
	個別指導		個別指導				個別指導			
	下校						下校			

〔小学部〕

校 時	時 間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特別日課
職員朝会 朝 の 活 動		職員朝会 学部朝会	学部朝会	学級活動	学部朝会 (幼小合同)	学級活動	職員朝会
		8:30～8:50					
朝 の 会		8:50～9:00					
1校時	9:00～9:45	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
2校時	9:55～10:40	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
3校時	11:00～11:45	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
4校時	11:55～12:40	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
給 食	12:40～13:15	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	
清掃等	13:15～13:35	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	
5校時	13:35～14:20	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	
6校時	14:25～15:10	3～6年	4～6年	3～6年	2～6年		
帰りの会	1年生	14:20～ 14:35	14:20～ 14:35	14:20～ 14:35	14:20～35	14:20～ 14:35	12:40～ 12:50
	2年生						
	3年生	15:10～ 15:25		15:10～ 15:25	15:10～ 15:25		
	4～6年生						
下校 スクールバス 出発時間	1年生	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	12:50
	2年生						
	3年生	15:30		15:30	15:30		
	4～6年生						

〔中学部〕

	平 日	短縮授業時	備 考
朝の活動	8 : 30 ~ 8 : 40	8 : 30 ~ 8 : 40	生徒朝会・手話ウィーク- 自主学習
SHR	8 : 40 ~ 8 : 50	8 : 40 ~ 8 : 50	
1校時	8 : 50 ~ 9 : 40	8 : 50 ~ 9 : 35	
2校時	9 : 50 ~ 10 : 40	9 : 45 ~ 10 : 30	
3校時	10 : 50 ~ 11 : 40	10 : 40 ~ 11 : 25	
4校時	11 : 50 ~ 12 : 40	11 : 35 ~ 12 : 20	
給 食	12 : 40 ~ 13 : 30	12 : 20 ~ 13 : 05	10 分前には食べ終える
5校時	13 : 30 ~ 14 : 20	13 : 05 ~ 13 : 50	
6校時	14 : 30 ~ 15 : 20	14 : 00 ~ 14 : 45	
SHR	15 : 20 ~ 15 : 30	14 : 45 ~ 14 : 55	
部活動	16 : 00 ~ 17 : 00		

※(金)は5校時まで授業。SHR (14:20~14:30) 下校時刻 (14 : 30~)

※毎月第1週目の学活は専門委員会。

〔高等部〕

（ 高等 ） 部

週（ 30 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:30						
SHR	8:40 ~ 8:50	10					
1校時	8:50 ~ 9:40	50	1	7	13	19	25
2校時	9:50 ~ 10:40	50	2	8	14	20	26
3校時	10:50 ~ 11:40	50	3	9	15	21	27
4校時	11:50 ~ 12:40	50	4	10	16	22	28
給食	12:40 ~ 13:30	50					
5校時	13:30 ~ 14:20	50	5	11	17	23	29
6校時	14:30 ~ 15:20	50	6	12	18	24	30
SHR	15:20 ~ 15:30	10					
下校	15:30		部活動：体育的部活動、文化的部活動など 特別活動：生徒会役員活動、専門委員会活動 その他：補習等、行事準備				

7 寄宿舎運営

(1) 教育目標

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、社会自立できる児童生徒
- ② 規律を守り、楽しく生活のできる児童生徒
- ③ 健康で安全な生活のできる児童生徒
- ④ 自学自習のできる児童生徒
- ⑤ 仲間を思いやり、協力する児童生徒

(2) 寄宿舎の児童生徒数

学部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				合計
学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	3	4
女	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	4	4	7
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	1	1	5	7	11

(3) 児童生徒出身地別表

市町村名	南城市	南風原町	那覇市	浦添市	宜野湾市	北谷町	沖縄市	うるま市	読谷村	名護市	合計
男	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
女	0	1	3	0	0	0	1	1	1	0	7
合計	1	1	3	0	0	0	2	2	1	1	11

(4) 日課表

日 課	時 間
着替え・洗面	6:30～6:50
朝の清掃	6:50～7:20
朝 食	7:20～8:00
健康観察・登校準備	8:00～8:20
登 校	8:20
～ 授 業 ・ 部活動(中・高) ～	
自由時間(入浴)	下 校 後～17:45
夕 食	18:00～18:30
タペの集い	18:30～18:40
清掃・歯磨き	18:40～19:00
学習時間	19:00～20:00
日課・自由時間	20:00～22:00 (小学部は21:00就寝)
就 寝・消 灯	22:10

(5) 年間行事

月	行 事
4	・ 入舎式 ・ 避難訓練
5	・ 舎友会総会 ・ 親睦会
6	・ 誕生会 ・ 前期体験入舎
7	・ 学期末の大掃除 ・ BBQ会
9	・ 寄宿舎まつり ・ 不審者対策学習会
10	・ 誕生会
11	・ 校外学習 ・ 後期体験入舎
12	・ 年忘れ会 ・ 年末の大掃除
1	・ 誕生会 ・ 舎友会総会 ・ 高3生を送る会 ・ 学年末の大掃除
2	
3	

※定例清掃（毎月1回）
※生の学習会、マナー学習、係会、部屋会

8 幼児児童生徒数

教育部門	学級種別	性別	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
			3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
聴覚障害	一般	男	2	4	2	8			2	1	1		4	0	2	0	2	0	1	0	1	15
		女	0		1	1	1		1			1	3	2	0	1	3		1	1	2	9
	計		2	4	3	9	1	0	3	1	1	1	7	2	2	1	5	0	2	1	3	24
	重複障害	男											0	0	0	0	0	1	0	1	2	2
		女					1				1		2	0	2	0	2	0	0	4	4	8
	計						1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	1	0	5	6	10
	訪問	男											0				0				0	0
		女											0				0				0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	2	4	2	8	0	0	2	1	1	0	4	0	2	0	2	1	1	1	3	17
		女	0	0	1	1	2	0	1	0	1	1	5	2	2	1	5	0	1	5	6	17
	合計		2	4	3	9	2	0	3	1	2	1	9	2	4	1	7	1	2	6	9	34

9 市町村別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
	名護市				0							0				0			1	1	1
	嘉手納町				0					1		1				0				0	1
	読谷村				0							0				0			1	1	1
	うるま市				0						1	1		1		1			2	2	4
	沖縄市	1	1	1	3			1		1		2			1	1		1		1	7
	北谷町				0			1	1			2				0				0	2
	北中城村				0							0				0		1		1	1
	中城村		1		1							0				0				0	1
	西原町		1		1							0				0				0	1
	宜野湾市				0	1		1				2				0				0	2
	浦添市				0	1						1				0				0	1
	那覇市	1	1	2	4							0	2	1		3			2	2	9
	南城市				0							0				0	1			1	1
	南風原町				0							0		2		2				0	2
	計	2	4	3	9	2	0	3	1	2	1	9	2	4	1	7	1	2	6	9	34

10 聴力の程度

(1) 裸耳聴力：左右の聴力できこえの良い方を聴力レベルとした

dB 学部	10 ~19	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80 ~89	90 ~99	100 以上	測定 困難	未 測定	合 計
幼稚部		1			1	1	1		2	3			9
小学部					1				1	6		1	9
中学部								1	2	4			7
高等部					1			1		5		2	9
合 計		1			3	1	1	2	5	18		3	34

(2) 装用時聴力：左右の聴力できこえの良い方を聴力レベルとした

dB 学部	10 ~19	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80 ~89	90 ~99	100 以上	測定 困難	未 測定	合 計
幼稚部		4	2		2		1						9
小学部		4	3							1		1	9
中学部			5	1	1								7
高等部		3	3									3	9
合 計		11	13	1	1		1			1		4	34

11 令和5年度 疾病障害統計

疾 病 障 害 名			学部	幼稚部		小学部		中学部		高等部		全 体			
			性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	百分率
			在籍	4	3	4	4	4	2	5	7	17	16	33	%
染色体・DNA		ダウン症候群(21トリソミー)							1		1	0	2	2	6.1%
		その他染色体異常			1		1					0	2	2	6.1%
脳・神経	脳	脳性まひ						1			1	1	1	2	6.1%
		脳原性運動機能障害			1			1			1	1	2	3	9.1%
		てんかん(疑い、既往含む)				1	1					1	1	2	6.1%
精神・行動	精神	知的障害				1	2		3	2	3	3	8	11	33.3%
運動器		四肢麻痺・運動障害等						1			1	1	1	2	6.1%
循環器	心臓	心房・心室中隔欠損症(術後含む)		1					1		1	1	2	3	9.1%
		川崎病		1								1	0	1	3.0%
呼吸器		その他の呼吸器系疾患		1			2					1	2	3	9.1%
内分泌・代謝		グルタル酸尿症Ⅱ型									1	0	1	1	3.0%
		甲状腺機能低下症		2								2	0	2	6.1%
アレルギー・膠原病・免疫不全	アレルギー疾患	気管支喘息		1		1	1		1	1		3	2	5	15.2%
		アレルギー性結膜炎				1						1	0	1	3.0%
		アレルギー性鼻炎				1						1	0	1	3.0%
		食物アレルギー						1				1	0	1	3.0%
		その他のアレルギー						1				1	0	1	3.0%
耳鼻咽喉	耳	聴覚障害・難聴・聾		4	3	4	4	3	2	4	7	15	16	31	93.9%
		その他の耳鼻咽喉系疾患		2					2			2	2	4	12.1%
		人工内耳		4		2	3		2	2	2	8	7	15	45.5%
	咽喉	扁桃肥大		2			2		2			2	4	6	18.2%

12 学級編成

(1) 幼稚部 (法定・運用学級)

項目	幼児数			学級数
年齢・組	男	女	計	
3歳児	2	0	2	1
4歳児	4	0	4	1
5歳児	2	1	3	1
合計	8	1	9	3

乳幼児教育 相談教室	南 城市 豊見城市 那 覇 市 宜野湾市 西 原 町 中 城 村 北中城村 沖 縄 市 北 谷 町 うるま市 南風原町 宮古島市 久 米 島 恩 納 村 その他
---------------	--

(2) 小学部 (法定学級)

項目	児童数			学級種	学級数
年齢・組	男	女	計		
1年1組	0	1	1	一般	1
3年1組	2	1	3		1
4年1組	1	0	1		1
5年1組	1	0	1		1
6年1組	0	1	1		1
1年2組	0	1	1		1
5年2組	0	1	1	重複	1
合計	4	5	9		7

通級指導 教室	①中1(女)与那原町立与那原中学校 ②小2(女)沖縄市立北美小学校
------------	--------------------------------------

(3) 中学部 (法定・運用)

項目	生徒数			学級種	学級数
年齢・組	男	女	計		
1年1組	0	2	2	一般	1
2年1組	2	0	2		1
2年2組	0	2	2	重複	1
3年1組	0	1	1	一般	1
合計	2	5	7		4

(4) 高等部 (法定・運用)

項目	生徒数			学級種	学級数
年齢・組	男	女	計		
2年1組	1	1	2	一般	1
3年1組	0	1	1		1
1・2年2組	2	1	3	重複	1
3年3組	0	3	3		1
合計	3	6	9		4

1 3 寄宿舍部屋割

項目 部屋	児童数		
	男	女	計
1室	2	0	2
3室	1	0	1
4室	1	0	1
5室	0	2	2
6室	0	3	3
7室	0	2	2
合計	4	7	11

1 4 進路状況

中学部	卒業者数			本校 高等部	普通 高校	その他	備考
	男	女	計				
	2	0	2	1	1	0	1名：中部農林高校
高等部	卒業者数			進学	一般 就労	福祉 就労	1名：ITカレッジ沖縄 1名：トヨタ車体株式会社 1名：就労継続支援A型
	男	女	計				
	3	0	3	1	1	1	

15 スクールバスの運行規定・運行経路図・運行時刻表

(1) 目的

- ①児童生徒の通学の安全を図る。
- ②登下校の便宜を図り、円滑な学習活動に資する。
- ③保護者の送迎時間の負担を軽減する。

(2) 運行規定

<バス部の対応>

- ①スクールバス乗務員は、常に安全運転に心掛けて日常の運行に努める。
- ②学校からの運行上等の連絡事項等については、介助員は確実に保護者に連絡する。
- ③スクールバス運行上重要な事項が生じた場合は、必ず学校長かバス運行責任者（教頭）に必ず伝え、その指示を受ける。
- ④スクールバス運行に当たり、次の点に留意する。
 - ア 出発前点検を確実にする。
 - イ 運行中は、交通法規を守り、安全運転に努める。
 - ウ 運行中は、車内安全の確保に努める。
 - エ 終業時の点検及びスクールバスの保守に努める。
- ⑤運行中に非常事態が発生した場合は、次の処置を行う。
 - ア 交通事故に遭遇した時
 - ・児童生徒の安全の確認を行う。必要に応じて、児童生徒を安全な場所に誘導し、整列させるとともに全員の呼名確認を行う。
 - ・怪我等があった場合は「119番」通報し、適切な処置を行う。
 - ・学校に連絡して、校長の指示を受ける。
 - イ その他の非常災害に遭遇した場合
 - ・児童生徒の安全確保を第一に、沈着、冷静、迅速に行動するように配慮する。
 - ・学校に連絡して、校長の指示を受ける。
 - ・その他は、ア に準じて適切な処置をとる。

⑥非常災害時におけるスクールバス運行は次のとおりとする。

- ア 暴風、大雨、洪水警報が発令されている場合や災害などの危険が予想される場合には、校長の指示によりバス運行を停止する。
- イ 暴風警報が午前8:00までに解除された場合、通常の授業となり、スクールバスは運行する。各バス停での乗車時刻は学校より連絡する。

<職員の対応>

- ①スクールバス運行に変更が生じた場合は、前もって学校（担任等）から保護者へ連絡する。
- ②保護者から学校（担任等）へ連絡があった場合は、確実にバス部に伝え、遺漏がないようにする。
- ③下校時のバス乗車に際しては、前もってトイレを済ませておく。
- ④バスが定刻通りに出発できるよう下校時間を厳守する。なお、どうしても出発時間に間に合わない場合、必ずバスに連絡すること（連絡がない場合、バスは定刻通りに出発する）。
- ⑤発熱や怪我等により乗車が厳しいと判断される場合は、保護者に引き継ぐ。
ただし、乗車がやむを得ない場合には、養護教諭と教頭の許可を得ること。
- ⑥スクールバスで下校した児童生徒を保護者が迎えることができない場合、その児童生徒は学校へ戻ることになるが、その際、担任が保護者へ連絡し、保護者が学校で児童生徒を迎える事とする。
ただし、次の下校バスがあり、且つ保護者にやむを得ない事情がある場合は、その限りではない。
- ⑦学部・学校行事等でスクールバスの活用を計画している場合は事前にバス部と調整し、その計画書については、部主事とおして一週間前までにバス部へ提出する。
なお、保護者は、子どもがバスに乗車する際、行事の日程等について、いろいろと尋ねてくることから、バス利用の行事だけでなく、他の行事計画書（要項）等についてもバス部に配布することが望ましい。
- ⑧学部・学校行事等の計画で、予め現地の下見をする場合は、現地がスクールバスが通れる場所か、駐車やUターンができる所か等、必ずチェックする。
- ⑨新しくスクールバス利用が認められた者は、必ず「スクールバス利用申込書」を学級担任を通してバス部に提出すること。提出のない場合は、スクールバス乗車はできない。
(保護者付き添い無しで乗車する生徒は、確約書も提出の事)

(3) スクールバス利用児童生徒数

小学部：6名 中学部：4名 高等部：2名 合計12名

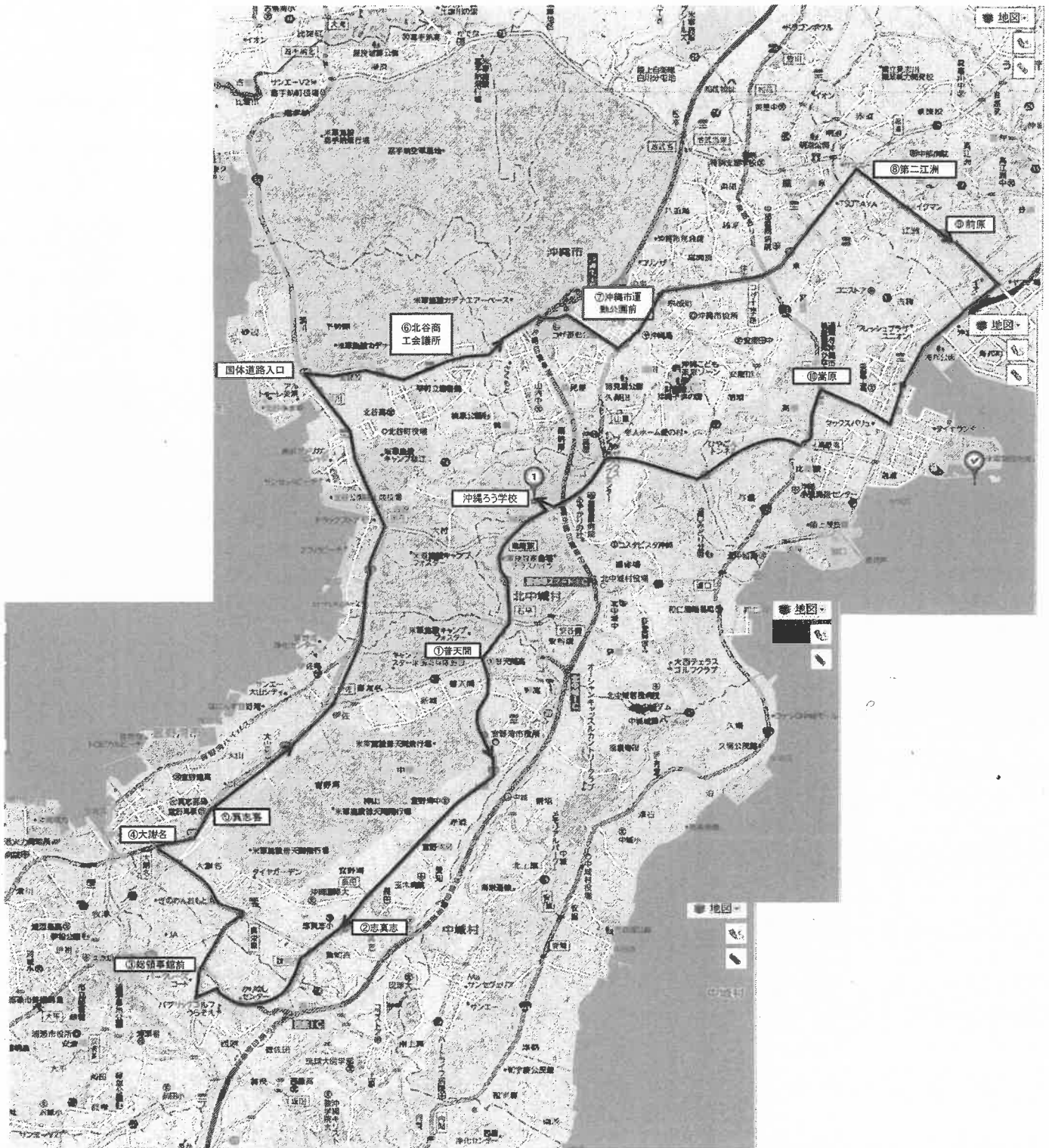
(4) 民間委託

民間委託会社：株式会社 セノン
委託業務開始：令和4年4月1日

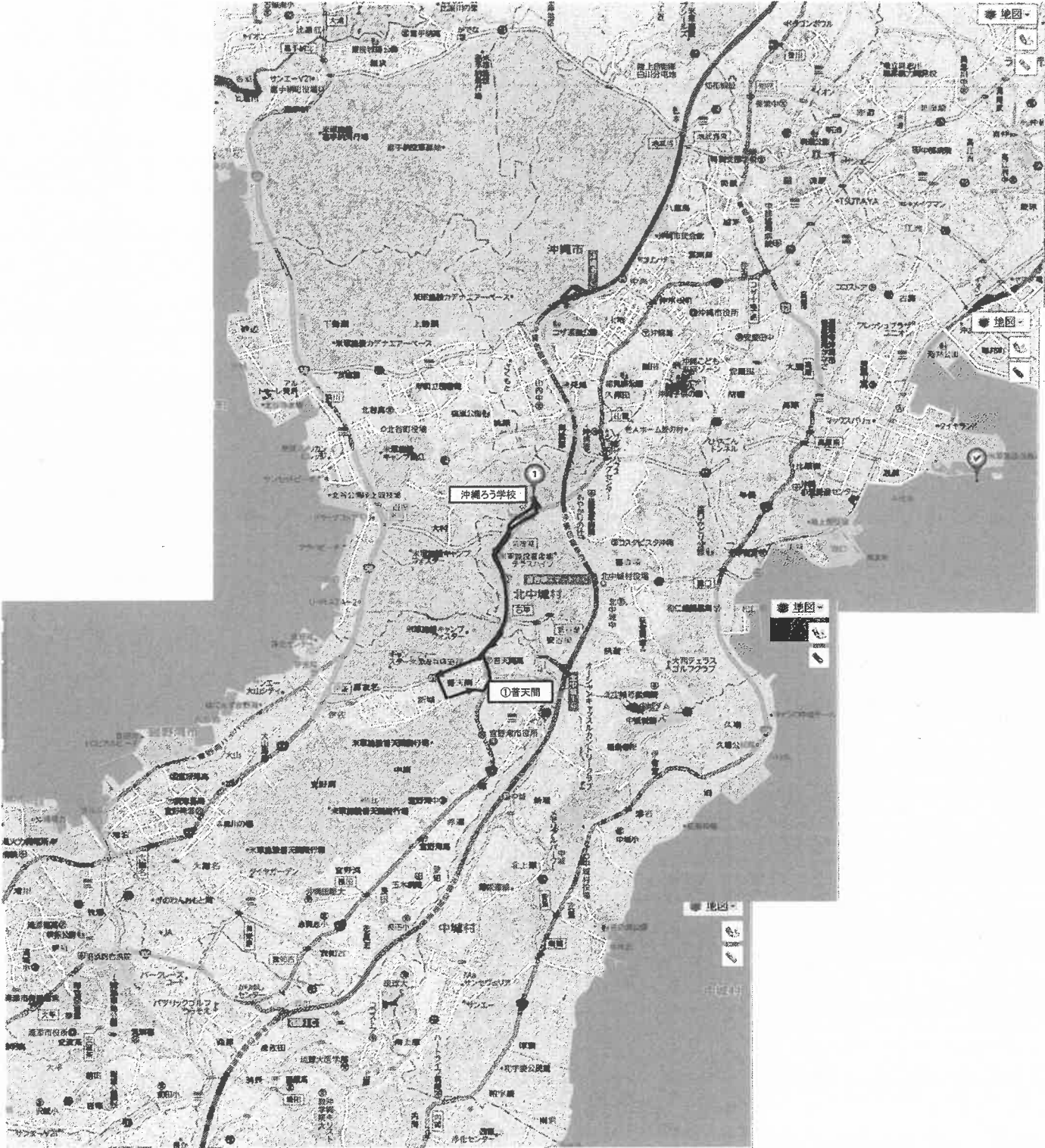
令和5年度 スクールバス運行時刻表

運行時刻 バス停名	登校	下 校							
	月～金	月	火		水	木	金	特別下校	
学 校 発	6:25	15:30	14:40	15:30	15:30	15:30	14:40	12:50	13:50
普天間市場前	6:35		14:50				14:50		
志 真 志	6:45								
総領事館前	6:55								
兼久原（下校）		15:45		15:45	15:45	15:45		13:05	14:05
大 謝 名	7:05	15:50		15:50	15:50	15:50		13:10	14:10
真 志 喜	7:06	15:51		15:51	15:51	15:51		13:11	14:11
伊平バス停	7:20						15:05		
北谷商工会議所	7:30						15:15		
普天間入口		16:00		16:00	16:00	16:00		13:20	14:20
園田バス停	7:37	16:12		16:12	16:12	16:12	15:22	13:32	14:32
第2江洲	7:55	16:30		16:30	16:30	16:30	15:40	13:50	14:50
前 原	8:00	16:34		16:34	16:34	16:34	15:44	13:54	14:54
高原バス停	8:13	16:42		16:42	16:42	16:42	15:52	14:02	15:02
学 校 着	8:35	17:00	15:00	17:00	17:00	17:00	16:00	14:20	15:20

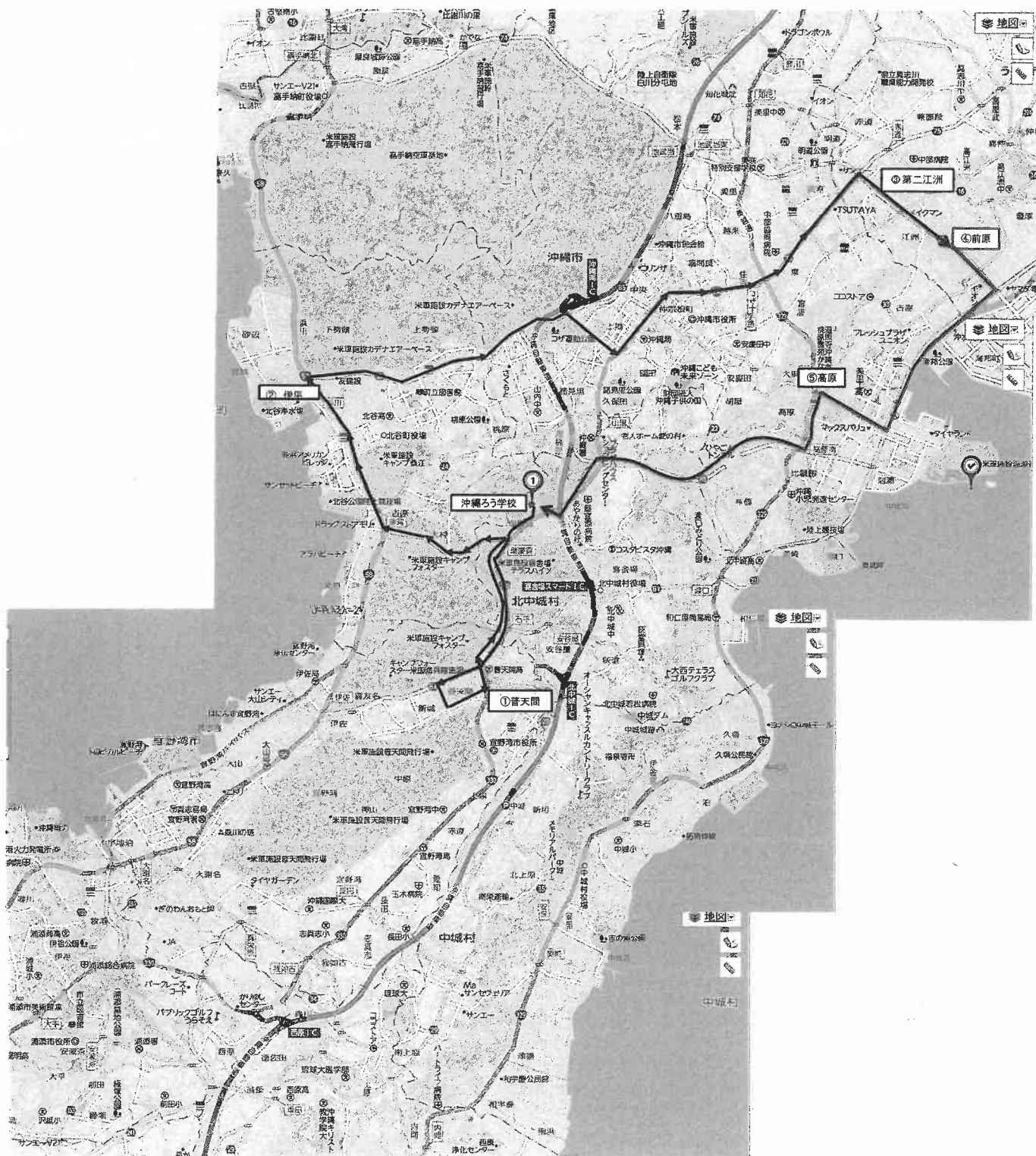
沖縄ろう学校 スクールバス 運行経路図(登校)



沖縄ろう学校 スクールバス 運行経路図(下校) 火 14:40



沖縄ろう学校 スクールバス 運行経路図(下校) 金

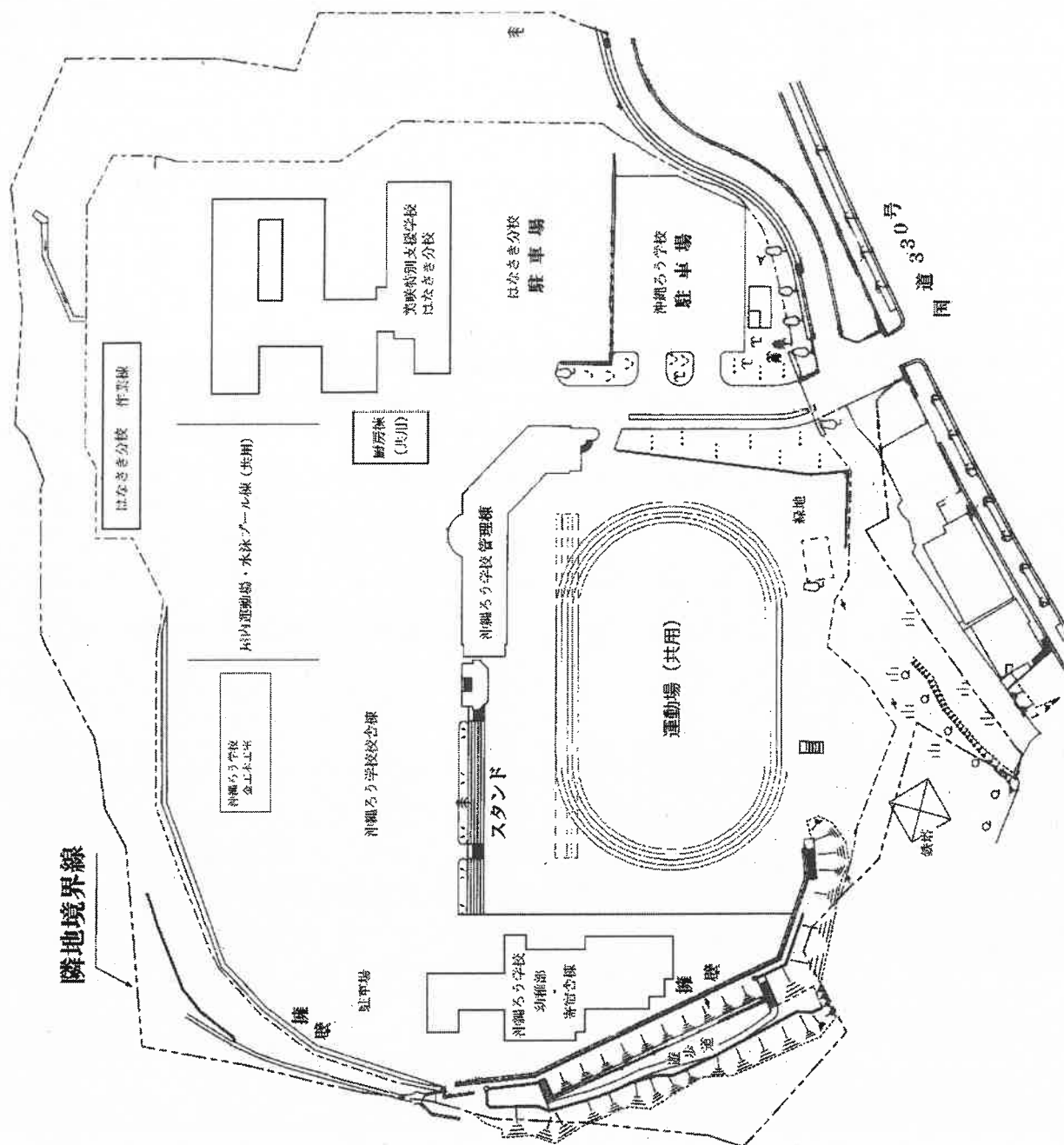


16 校舎配置図

校 地	35,065.00㎡
管 理 棟	1,053.92㎡
幼稚部寄宿舍棟	1,566.83㎡
校 舎 棟	3,074.31㎡
屋内運動場 ² ・ル	1,485.98㎡
金 工 木 工 室	207.00㎡
厨 房 棟	280.40㎡
運 動 場	6,159.70㎡

※校地面積

全面積	35,065.00㎡
県有地	11,366.00㎡
借 地	23,699.00㎡



沖縄ろう学校マップ

〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村屋宜原415番地

TEL (098) 932-5475

FAX (098) 932-8248

E-mail school@okiro-sh.open.ne.jp

